

本校が外部団体から案内を受けて募集をした奨学金(在学)の例(令和4年度実績)

各奨学金の募集案内は、募集時期になりましたら、2階校長室前掲示板にて随時お知らせいたします。
特に4・5月は奨学金の募集が多いため、こまめに掲示板をチェックし、申請をしてください。担当:事務室 佐藤 TEL:022-286-3557

時期	奨学金名	対象学年	該当要件	金額	給付(貸与)期間	貸与 給付	併用	備考
4月	J.POSH奨学金 まなび	全学年	・本人の母親、保護者が乳がんで亡くしている、または本人の母親、保護者が現在乳がんで闘病中 ・経済的な理由により修学またはその継続が困難な生徒	月額1万円	高校在学期間中 (最長3年間)	給付	可	自主応募
4月	毎日希望奨学金	全学年	東日本大震災で保護者を失い、学業継続が困難な状況	月額2万円	高校在学期間中 (最長3年間)	給付	可	自主応募
4月	高等学校等育英奨学資金(在学)	全学年	・保護者が宮城県内に住所を有すること ・学力及び人物が優れていると認められること ※ 前年度評定平均 新1年生→3.5以上 新2~3年生→3.0以上 ・前年の世帯収入が一定以下 ※ 目安:4人世帯で給与支払額779万円以下	自宅通学3万円 自宅外通学3万5千円	高校在学期間中 (最長3年間)	無利子 貸与	可	
4月	高等学校等育英奨学資金(家計急変)	全学年	・保護者が宮城県内に住所を有すること ・主たる家計支持者等の失職又は火災等の事由により家計が悪化し、緊急に奨学資金の貸付けの必要が生じた場合(事由発生から1年以内) ・前年の世帯収入が一定以下 ※ 目安:4人世帯で給与支払額779万円以下	自宅通学3万円 自宅外通学3万5千円	申請書の提出があつた月から当該年度末まで	無利子 貸与	可	翌年1月末まで随時応募可能
4月	亀井記念財団奨学金	全学年	高校生にふさわしい生活態度・信条を持ち、かつ水準以上の学力(平均以上)で向上心があり、家庭の事情から学費の負担が困難な生徒 ※ 収入制限は設けられていませんが、例年採用される目安としては世帯収入500万円以下、もしくは兄弟姉妹が多い、または兄弟姉妹が大学生など、学費負担の大きい家庭や、学力の優秀な生徒が採用される傾向があります	月額1万円	高校在学期間中 (最長3年間)	給付	可	毎月事務室窓口にて奨学金の受け取りをする必要あり
4月	あしなが育英会奨学金	全学年	保護者が病気や災害(道路における交通事故を除く)、自死(自殺)などで死亡、または保護者が1~5級の障がい認定を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の子ども	月額5万円 (給付2万円 +貸与3万円) →2023年度から月額3万円給付に変更	高校在学期間中 (最長3年間)	給付 + 無利子 貸与	可	・自主応募 ・年内には随時応募可能
4月	庄慶会奨学金	全学年	生計に困難のある家庭(低所得者世帯や母子(父子)家庭、他の兄弟姉妹が学生・生徒で出費が多い世帯、長期療養者を抱える世帯、突然の事情により収入が大幅に減少した世帯など)の子弟で、心身共に健康で、あくまでひたむきに勉学したいとの意欲と気力をもっている者	月額3万3千円	高校在学期間中 (最長3年間)	無利子 貸与	一部 不可	貸与型奨学金との併用は不可
4月	朝鮮奨学会奨学金	全学年	・日本の各高等学校に在籍している韓国人・朝鮮人学生(特別永住者証明書・在留カード・外国人登録証明書の国籍表示が韓国もしくは朝鮮) ・成績優良(原則として、前年度の評定平均値3.0以上)であり、学資の支弁が困難な者	月額1万円	1年間	給付	一部 不可	・自主応募可 ・他の同胞奨学金との併用は不可 ・年2回のレポート提出あり
4月	似鳥国際奨学財団奨学金(下期)	全学年	・国籍:日本国籍を有する人 <外国籍を有する場合> 在留資格が、『永住者』または『定住者』の人は応募可能 ・18歳以下で、日本国内の高等学校(全日制)の1~3年に在籍予定の者	月額4万円	当年度10月~ 次年度9月	給付	可	・自主応募 ・WEBテスト、面接あり ・毎月レポートの提出あり ・交流会(年1回)への参加あり
4月	多田脩學育英会奨学金	1年生	・日本国籍を有する高校1年生 ・誠実かつ堅実な人物であること、健康であること、中学3年間の出席日数が90%以上であること ・家庭が経済的困窮状態にあり、学業に関しての経済的援助を必要としていること ・育英会の定める脩學生の義務を果たし、自己の人格形成に真摯に取り組み、将来は模範となる人間として社会貢献する志があるもの	月額2万円	高校1年生8月~3年生3月	給付	可	・課題の提出および育英会開催講座への出席あり(近年はコロナにより中止orオンラインでの開催)
5月	交通遺児高等学校奨学生	全学年	保護者等が自動車やバイクなど、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働き、経済的に修学が困難な生徒(応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となつた場合も含む)	月額2~4万円	高校在学期間中 (最長3年間)	無利子 貸与	可	・自主応募 ・翌年1月末まで随時応募可能
5月	加藤山崎修学支援金	全学年	・前年度の評定平均2.7以上 ・学習に意欲的または成績優秀で品行方正である者 ・1校につき3名まで申請可のため、校内選考の可能性あり (※世帯の年間所得200万円未満を目安とします。選考は願書内容や成績、家族構成等の家庭状況も考慮して行いますので、所得目安は給付を保障するものではありません。また、世帯所得が目安を上回っていても応募可能です。)	年額5~10万円	高校在学期間中 (最長3年間)	給付	一部 不可	・加藤山崎奨学金との併用不可
5月	加藤山崎奨学金	2年生	・高校2年生 ・学業全般もしくは文化・芸術・科学分野で優秀な成績をおさめており、品行方正である者(前年度の評定平均4.3以上) ・1校につき3名のみ申請可のため、校内選考の可能性あり	5万円(1回限り)	採用年度内 1回限り	給付	一部 不可	・加藤山崎修学支援金との併用不可
9月	まなべる基金奨学金	1・2年生	・東日本大震災発生時に生徒および家計支持者が岩手県・宮城県・福島県に居住していた ・被災したことを生徒および保護者の自宅の罹災証明書(半壊以上)または被災証明書の提出により証明できる ・家計所得が一定基準以下	年間19万円	次年度から 高校在学期間中 (最長3年間)	給付	一部 不可	給付型奨学金との併用は不可
9月	高等学校等育英奨学資金(被災)	全学年	保護者が宮城県内に住所を有し、東日本大震災により原子力災害被災地域にて被災、修学が困難な生徒	月額2万円	高校在学期間中 (最長3年間)	貸与	一部 不可	宮城県の育英奨学資金(在学・家計急変)との併用は不可
10月	似鳥国際奨学財団奨学金(上期)	1・2年生	・国籍:日本国籍を有する人 <外国籍を有する場合> 在留資格が、『永住者』または『定住者』の人は応募可能 ・18歳以下で、日本国内の高等学校(全日制)の1~3年に在籍予定の者	月額4万円	次年度1年間	給付	可	・自主応募 ・WEBテスト、面接あり ・毎月レポートの提出あり ・交流会(年1回)への参加あり
11月	セーブ・ザ・チルドレン子ども給付金	全学年	・宮城県石巻市に在住する中学3年生から高校3年生であること ・日本国内の学校に在籍し、以下の対象条件A~Dを満たしていること A.セーブ・ザ・チルドレンが設定する世帯年間収入条件を満たしていること B.現在の生活の状況が、セーブ・ザ・チルドレンが設定する条件に当てはまること C.高校入学ならびに高校3年間の就学継続が経済的に難しいこと D.セーブ・ザ・チルドレンから依頼する協力事項にご協力いただけること	月額2万円 + 高校3年生は卒業前に15万円	高校在学期間中 (最長3年間)	給付	一部 不可	・自主応募 ・セーブ・ザ・チルドレンが実施する他の給付金との併用は不可
11月	ヨネックススポーツ振興財団奨学金	全学年	・全てのスポーツ競技で、専攻するスポーツの種目において自他ともに認める力量を有していること。 ・海外からの留学生を含み、スポーツ振興を目指すジュニアアスリートまたは将来の指導者を目指している方。 ・年齢は、申請年度の4月2日時点で満10歳以上、満30歳未満とします。	月額4万円以内	次年度1年間	給付	可	自主応募
12月	アフラック小児がん経験者奨学金 アフラックがん遺児奨学金	1・2年生	①小児がん経験者 ②主たる生計維持者を「がん」で失った遺児で、成績の評定平均値が3.5以上 ①、②ともに世帯収入が一定の基準以下	月額2万円	高校在学期間中 (最長3年間)	給付	可	自主応募可
随時	東日本大震災 みやぎこども育英基金奨学金	全学年	・震災により生計を一にしていた保護者(父又は母若しくはこれに類する者)が死亡又は行方不明になっている児童生徒等 ・上記保護者が、震災時に宮城県内に住所を有していた者 ・学校等(小中高等学校・大学・大学院・高等専門学校・専修学校など)に在籍し、満27歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者または未就学児(震災時に胎児だった方も対象になります。) ・他の都道府県から、同種の給付型奨学金の給付を受けていない者	対象者の年齢で決定	在学期間中	給付	一部 不可	他の都道府県(主に岩手県・福島県)が行う同種の給付型奨学金(例:震災遺児孤児奨学金)との併用は不可
随時	令和4年度 山元町奨学金緊急支援金給付事業	全学年	・国、地方自治体、大学、民間企業等から奨学金の借入または給付を受けているもの ・本人またはその保護者が山元町に住所を有していること ※ 新型コロナウイルス感染症の影響等により、減収し経済的に困窮する奨学生に対し就学を援助することを目的としている事業のため、次年度以降の実施がない可能性あり	3万円	採用年度内 1回限り	給付	可	